

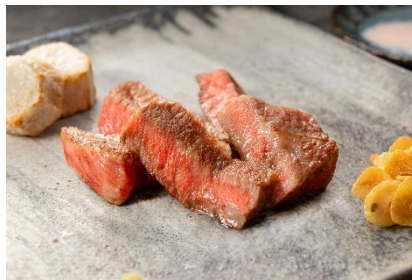
4月施行の新条例に適應する“施設外玄関帳場”に 飲食店を併設 希少な「京都肉」の鉄板焼きで、おいしい京都を発信

京町家を改装した、ユニークな店舗
観光客・地域住民を「食」でつなぐ「紡 Dining Bar」

京都市内で不動産売買や宿泊施設の管理運営を行う株式会社レ・コネクション（京都市下京区、代表取締役 奥田久雄）は、2020年3月20日（予定）に京都市中京区において施設外玄関帳場（注1）を併設した飲食店「紡（つむぎ）Dining Bar」をオープンします。



希少な A5 ランクの黒毛和牛「京都肉」



素材の魅力を最大限に味わえる鉄板焼き



白甘鯛の昆布締め 北海道産ウニを添えて

※料理写真はイメージです、実際のコースメニューとは異なります。

■観光客と地域住民とのタッチポイントとなる飲食事業を展開し、相互理解のきっかけに

当社は 2016 年の設立以来、「人を結び 街を紡ぐ」をコンセプトに不動産を通して京都の未来を紡ぐ担い手となることを目指して事業に取り組んでおります。歴史ある京都のブランド価値を高めるため、京町家の保存再生に注力しており、空き家となり放置されたままの京町家を宿泊施設へと甦らせる事業を積極的に行なっています。自社で管理運営する宿泊施設は、一日一組限定の一棟貸しブランド「紡 Machiya Inn」を中心に京都市内で現在 48 棟に上り、今夏 70 棟までの拡大を予定しています。

今回新しく飲食事業をおこなう背景には、インバウンドの需要が「モノ」から「コト」へと変化している現状があります。当社としても宿泊施設の提供のみに留まらず、「食」という体験を通して総合的にゲストの満足度の向上に繋がりたいと考え、飲食事業を展開する運びとなりました。

また、もうひとつの背景には、この 4 月より新条例が施行となり簡易宿所を営業する際に設置が義務付けられる「施設外玄関帳場」の存在があります。施設外玄関帳場においては 24 時間 365 日スタッフが駐在し、宿泊客のチェックイン業務や滞在中のサポートを行ないます。当社は施設外玄関帳場を宿泊客のみが利用する場所ではなく、地域住民も訪れることができ、交流が生まれる空間を目指しています。観光客と地域住民との間に生ずる軋轢が昨今問題となっておりますが、“おいしい”という共通の体験の共有を通じて相互理解のきっかけとなる場を提供できればと考えています。

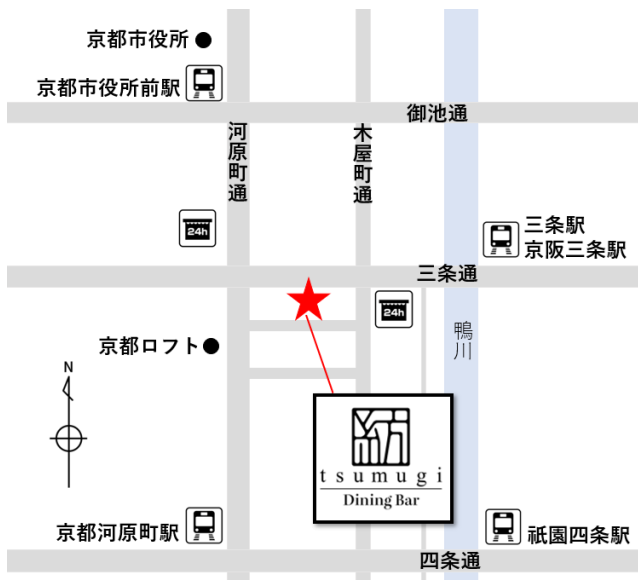
■月替わりのコース料理を提供 メインは希少な A5 ランクの黒毛和牛「京都肉」

「紡 Dining Bar」では月替わりのコース料理をご提供します。メインは A5 ランクの黒毛和牛「京都肉」の鉄板焼き。知名度はまだ高くない京都肉ですが、脂身の融点が低く口の中で溶け出すほどの肉質は柔らかさと弾力を併せ持ち、全国の品評会でも高い評価を得ています。しかし流通量が少ないため、大変希少なものとなっています。旬の京野菜や新鮮な魚介を使ったオリジナルメニューを月替わりでご提案し、「おいしい京都」を発信して参ります。

（注 1）施設外玄関帳場…京都では条例の改正に伴い、簡易宿所を営業する際には宿泊施設内または施設外に帳場（フロント）を設けることが必要になります。既存施設については 2020 年 3 月末まで経過措置がありますが、2020 年 4 月 1 日からは条例に基づいた運営が義務となるため、今後施設外玄関帳場の重要性はますます高いものとなります。

■店舗概要

店舗名	紡（つむぎ） Dining Bar
オープン日	2020年3月20日予定
施設概要	1F 36.85㎡ 2F 36.85㎡（延床面積 73.70㎡）
営業時間	18:00-26:00 予定
席数	23席（1F 8席 2F 15席）



■「人を結び 街を紡ぐ」

当社は2016年4月の起業時より「人を結び 街を紡ぐ」をコンセプトに、京町家の保存と再生・活用をする取り組みに力を注いでいます。伝統的な構法を用いた家屋である「京町家」は築100年以上経つ建物が多く、京都の歴史情緒を感じさせてくれます。しかし、所有者の高齢化やそれに伴う相続問題、加えて独特の形状の間取りのため修繕が難しく、一日に約2軒のペースで「京町家」は取り壊されているのが現状です。また放置されたままの空き家は倒壊の恐れや街の景観を損なうことに繋がり、街としてのブランド価値を下げる要因になりかねません。

当社は多くの文化的価値を持つ「京町家」を次の世代に受け継ぐべきものであると考え、外観や内観の趣や意匠をできるだけ残し、一日一組限定の一棟貸し宿泊施設として再生する取り組みを行っております。デザインや施工、運営管理、清掃まで一貫してトータルサポート出来ることが当社の強みであり、宿泊していただくゲストには京町家に泊まるという特別な体験を、そして地域社会には街の再生や活性化という形で貢献していきたいと考えています。

時代の流れに沿った整備を行い、人の流れを生むことで街は街として息づきます。わたしたちは受け継がれてきた歴史や文化を次の世代に紡ぐ担い手になりたいと考えています。You



非日常な京町家ステイを体験できる



年代物の梁はあえてそのままに



床暖房を配するなど、快適性にもこだわる